

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 流域治水について

気候変動による水災害リスクの増大は、河川管理者だけでは軽減できない。そのため、集水域から氾濫域まで一つの流域と捉え、流域内のあらゆる関係者（国、県、市町村、住民及び企業）治水に取り組む流域治水を実施する①。例えば、雨水浸透対策や避難体制の強化を組み合わせ②被害の軽減を図る。

① 「関係者治水に取り組む」になっています。→「関係者が治水に取り組む」

また、問題があまりに抽象的で、何を回答するのか判然としません。見出しから推察するに、流域治水の説明をするのだと思います。その場合、「流域治水を実施する」との文末は違和感があります。

② 何と組み合わせるのですか。また、具体的対策は、次の項目で述べるものではありませんか。

2 具体的な対策

(1) 氾濫を防ぐ・減らす取組

頻度の高い洪水は、河川施設で守る③ことを基本とし、洪水を安全に流下④させるために、河川断面を大きくする⑤。洪水に対して安全な構造とするため、施設倒壊まで時間を稼ぐ堤防の整備を実施する⑥。洪水を一時的に貯留⑦し、河道への流下量を減らす洪水調節施設の整備を実施する。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ③ 「洪水は河川施設で守る」との表現は違和感があります。洪水は災害なので、「守る」ではなく防ぐではありませんか。
- ④ 「洪水を安全に流下」との表現は違和感があります。洪水としてしまつては、もう溢れている状況を指すと思います。超過降雨とかですかね。
- ⑤ 単なる河川事業の説明をしているように見えます。流域治水対策なので、もっと総合的・多層的な取り組みを述べる必要があります。
- ⑥ →「非難するための時間を稼ぐため、堤防は粘り強い構造を採用する」
- ⑦ 洪水は災害なので、貯留しません。また、貯留浸透は家庭、田んぼなどあらゆる関係者が関与する施策を述べましょう。

(2) 被害対象を減らす取組

地方公共団体は、独自に条例で、出水、高潮等による危険の著しい区域を災害危険区域として指定する⑧。
指定されると、住宅建築の禁止や、その他建築物の建築に制限がかかる。

- ⑧ これはなんですか。抽象的で良く分かりませんし、書くべきことは国の制度（都市再生特別措置法や防災指針の作成など）に基づくものです。

(3) 被害の軽減への取組

迅速・円滑な避難とするため、避難判断に必要な雨量や河川水位、河川カメラ映像等の観測情報や、洪水予報やダム放流通知、水防警報などのわかりやすい予報・警報を、SNSを通じて発信する。以上